

令和2年12月15日

中野区長
酒井直人殿

公明党議員団
白井 秀史
木村 広一
久保 りか
南 勝彦
平山 英明
小林 善一
甲田ゆり子
日野 崇

新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望

都内の新型コロナウイルス感染者数は先週末一日あたり過去最高の621人となり、重症化数も日々増加傾向で、公衆衛生及び医療提供体制がひっ迫しはじめている。感染予防対策を継続するとともに、一日も早いワクチンの実用化が待たれるところである。

10月23日に公表された厚生労働省の「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要領」では、「仮に、来年初頭に新型コロナウイルスワクチンの供給が可能となった場合には、速やかに住民に対する接種を行うことも想定されるため、開発動向等も見据えながら、実用化された際に早期に接種を開始できるよう、準備を予め進めていく必要がある。」としている。その上で、市町村の役割について「医療機関との委託契約、接種費用の支払」「住民への接種勧奨、個別通知」等が示されており、市町村において準備しておくべき事項として、庁内体制整備において①人的体制の整備 ②予防接種台帳システム等のシステム改修 ③印刷・郵送準備 ④接種実施体制の検討及び調整 ⑤相談体制の確保 ⑥その他の事項が、具体的に記されている。

12月18日に東京都において説明会が行われるとのことであるが、新型コロナウイルスワクチンが実用化された場合に迅速かつ適切に接種を開始することができるよう、直ちに全庁的な責任体制のもと専管組織を設置し、実施するための予算措置を速やかに講じるなど、必要な準備に着手する必要がある。

公明党議員団は、区民の命と健康を守るために、まずは中野区における「新型コロナウイルスワクチン接種」を速やかに実施するための準備に着手することを求めるものである。